

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川ファーマーズセンター
	所在地	あきる野市二宮 8 1 1 番地
	所管課	環境農林部農林課農政係
指定管理者	名 称	秋川農業協同組合
	所在地	あきる野市秋川三丁目 1 番地 1
	業務内容	市内農業者が生産した良質で新鮮な農畜産物等の販売業務 農畜産物等の販売促進に関する業務 農畜産物等の計画的生産に関する業務 地域産業との相互協力による販売業務 農業従事者の相談に関する業務 市民農園の管理に関する業務 センターの維持管理に関する業務 その他市長が必要と認める業務
ホームページ URL		http://www.ja-akigawa.or.jp/shiten/tennpo/fc.htm
指 定 期 間		令和 6 年 4 月 1 日から令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで

2 施設の利用状況等について

項 目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
開館等日数（日）	352	357	356	356	356
利用者（来客者） 数（人）	246, 158	252, 265	246386	245, 152	248, 051
前年度比（人）	△26, 756	6107	△5, 879	△1, 234	2, 899
前年度比（％）	90. 2	102. 5	97. 7	99. 5	101. 1
利用料金（売上） 合計（千円）	415, 390	422, 395	442, 317	467, 040	468, 866
前年度比（千円）	△2, 836	7, 005	19, 922	24, 722	1, 826
前年度比（％）	99. 3	101. 7	104. 7	105. 6	100. 4

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項 目		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	使用料収入 （売上）	261, 654	270, 355	333, 372	353, 915	343, 909
	自主事業収入	149, 510	152, 040	108, 945	110, 271	122, 246
	その他の収入	4, 226	0	0	2, 854	2, 711
	計	415, 390	422, 395	442, 317	4, 677, 040	468, 866
支 出	人件費	16, 838	32, 973	47, 739	54, 019	45, 585
	維持管理経費	18, 881	23, 008	17, 261	16, 179	16, 750
	自主事業 関係経費	378, 411	373, 029	389, 207	437, 326	432, 271
	その他の支出	36	11	0	1, 810	1, 645
	計	414, 166	429, 021	454, 207	509, 333	496, 251
収支（収入－支出）		1, 224	△6, 626	△11, 890	△42, 293	△27, 385

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合がある。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
店舗内にアンケート用紙及び回収箱を設置するとともに、電話や直接店頭で承る利用者の意見・要望を伺い、毎月実施している出荷部会役員会を通じて生産者会員へ周知しています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
良い意見としては「安くて新鮮でおいしい野菜が揃っている」等の意見が多数ありました。一方、苦情等としては「欲しい野菜がすぐになくなってしまい、手に入らない」「午後に陳列している野菜が少ない」等の意見がありました。対応策として、都内 JA 及び全国 JA 間の流通取引により野菜果物等を補填しています。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
陳列棚には料理方法レシピを並べてお客様が購入しやすいよう心掛けています。また、毎日生産者当番にご協力いただき、出荷農畜産物に関する来店客の質問などに回答いただける体制をとっています。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
隣接する経済センターマイムの事務所を統合し、人員削減を図っています。引き続き、「レジ袋の有料化」を推進しています。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
令和 6 年度は、全国的な夏の猛暑と秋の長雨の影響により秋野菜の価格が高騰し、管内農家会員もタネの播き直しなど出荷農産物に大きく影響がでました。そのような中でも、近隣他店の野菜高騰の中で当店の来場客は増えました。売上は前年度並み、人件費は減少、光熱費を含む維持管理費は微増であり、収支はマイナスであったものの赤字額は前年度を下回りました。若い新規就農者を中心に、とうもろこしをはじめとする特産物の生産力を付け販売を伸ばし、より一層の地域ブランド化を進めてまいります。

7 所管課による総合評価（太枠に S～B の 3 段階で評価を記入）

市民サービスの向上		
秋川ファーマーズセンターの会員が消費者と積極的にコミュニケーションを図り、消費者の要望等を把握しようとする努力は評価できる。引き続き、お客様のご意見に耳を傾け、更なるサービスの向上を図ってほしい。		
経費削減の取組		
人件費の高騰など厳しい社会情勢が続く中、事務所を統合し合理化を図っていることは評価できる。収支も前年度比ベースでは圧縮されており評価できる。 今後もサービスの向上と経費節減のバランスを図りながら引き続き継続してほしい。		
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価		
気候変動による作物への影響は、今後も避けては通れない課題と考えられる。JAとして、都内JAや全国JAの組織を活用し、気候変動対策の事例を調査し、農家会員に対して遮熱対策や栽培方法の情報を提供するような研修会などを事業として開催し、安定した収穫ができるようになることを期待する。		
	総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。